

株式会社ジェイコムイースト 相模原・大和局

2016年度 放送番組審議会 議事録

2016年度の放送番組審議会は、2017年3月1日(水)に相模原・大和局で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

—ご出席—

折田 功 様	川上 宏 様	鈴木 克則 様
鈴木 秀太郎 様	武内 英雄 様	田所 昌訓 様
湯山 洋 様		

事業者側から局の現況報告、及びJ:COMチャンネル(11ch)とJ:COMテレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】(武内会長による進行)

◆地域イベントの特番化を評価

委員 地域イベントが開催されても、現場へ見に行けない人がいる。そのような時に当該イベントの特別番組化はありがたい。例えば、花火大会の特番は、アングルが良く、花火が上がる間のつなぎの演出も興味深く、映像も綺麗だった。現場へ行けない人たちのニーズをくんだ臨場感のある内容になっていた点を評価する。

委員 花火の生中継は迫力があり、音も良かった。番組を見て、現地に足を運ぶ人もいるのではないか！

事業者 番組に対するアンケートを行った際、視聴者から「花火の映像に迫力を感じたので、来年は是非現場へ見に行きたい」といった回答を頂いている。

◆放送日時のPRが必要

委員 地域のイベントを丹念に取材してもらっており大変嬉しい。但し、取材対象者や取材風景を見ている人たちは放送日時を知りたいはずだが、その情報発信が充分でないと思う。

事業者 取材現場では、放送日時を記載したチラシを配付したい。

委員 番組の PR としては、事前の告知、取材日当日の告知、再放送があるのならその日時の案内も必要だろう！

事業者 昨年から番組内で L 字テロップを使えるようになったので、番組やイベントの告知に活用していきたい。

◆地域密着番組に関するリサーチは？

委員 国が超高齢化社会に向けて小さな拠点作りを進めていることを考えると、地域に根付いたコミュニティチャンネルは今後ますます需要が高まり、かつ重要になると思う。地域密着のチャンネル編成、および番組作りのためにどのようなリサーチを行っているのか？

事業者 地上波局と同様の視聴率は取っていない。

ケーブルテレビの強みは地域の人たちとの距離が近いこと、文字通り地域密着のメディアという点である。従って、大規模な調査をするのではなく、地元での取材の都度、取材先から聞いたご意見、並びに地域プロデューサー（地域ステークホルダーとの関係構築を担う J:COM 社員）を通じて収集した地域の皆様の声を参考にして番組を制作している。

◆地域の変化を意識した取材を！

委員 地域性は大事なことなので、地域の変化を意識して取材をして欲しい。例えば、圏央道は、整備の予定が立っていない区間を除けば、90 数パーセント完成しており、相模原と都心の行き来が便利になった。また、10 年先の話になるが、リニアモーターカーの新駅が相模原にできる。こういった地域の変化に関心を持っている視聴者は沢山いると思うので、日々、敏感にアンテナを張って、地域情報を発信して欲しい。加えて、子供たちによるオーケストラの発表会や若手落語家の大会など、地域の文化活動も取り上げてもらいたい。

委員 地上波局が放送しない地域のスポーツイベントやお祭りなどを取材しているので地域の人たちが映ることがあり、大変身近に感じられる番組が多い。今後もこのような番組を放送してもらえると楽しくなると思う。

◆初放送の「かながわ駅伝」

委員 今年度初めて放送された「かながわ駅伝」は臨場感があって、非常に良かった。ただ、欲を言えば、定点カメラや車載カメラの台数がもっとあると、様々な地点で各市町村のランナーの様子を紹介できたのではないだろうか。カメラは何台使用したのか？

事業者 17 台使った。今回初めての放送ということもあり、移動カメラは先頭ランナーの位置のみという規制があった。しかも、雪が降る可能性もあったのでバス型の車載カメラになった。今後、2 位以下のランナーを追うカメラを使わせてもらえるかどうか課題である。

事業者 なお、今回の「かながわ駅伝」の生中継にはおよそ 100 人の制作スタッフが動員された。

委員 今年は沿道で応援する人たちが例年より多かったように思う。生中継の効果があったのではないか！

◆放送日時の周知&見逃し対応

委員 地域に特化した番組を作っているので、年間になると相当な地域ネタを放送していることになる。それだけに地域の人たちの視聴ニーズも高いと思うので、放送日時の周知に努めてもらいたい。取材現場で放送日時を記載したチラシを配付したいと言っていたが、編成上、放送日時を確定できない場合もあるだろうから、後日、放送日時を取材先へ連絡する、あるいはホームページで案内するなどの方法をとって欲しい。また、見逃し対応として再放送を組み、かつその放送日時の告知を行ってもらいたい。

事業者 告知が課題であると認識している。

事業者 イベント取材時には主催者へ放送日時の告知をお願いしてみる。

◆シティプロモーション

委員 地域密着の「デイリーニュース」に加え、地域から全国へ情報発信する「ご当地サタデー」でもシティプロモーションに取り組んでもらい感謝している。今後も行政等と連携して地元を紹介して欲しい。

以上